公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
真鶴町	水道事業	―	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●		●		

抜本的な改革の取組状況

取組事項　（水道事業）広域化等

		（実施類型）		（取組の概要）	（実施（予定）時期）		
実施済		経営統合	施設の共同設置・利用		年	月	日
実施予定		施設管理の共同化	管理の一体化				

（取組の効果額）
百万円(年)

（取組の効果額内訳）

		（取組の概要）	（検討状況・課題）
検討中	●	県西2市8町での検討については、官民連携による包括委託の導入の検討に併せた、共同での包括委託などによる広域化等を検討し、 湯河原町との広域化については、将来的な広域化に向けて、事務事業の共通化及び施設管理の共同化の検討を行う。	県西2市8町での検討は、平成28年3月から検討会を実施し令和4年度は開催なし。引き続き令和5年度も検討していきたいと考えている 湯河原町との検討は、令和3・4年度に神奈川県の広域化のモデル事業に抽出されたことを受け、将来推計に協力した。両町の話し合いについては引き続き行っていきたい。

取組事項　民間活用（包括的民間委託）

		（取組の概要）	（（実施済のみ）性能発注内容）	（実施（予定）時期）		
実施済				年	月	日
実施予定						

（取組の効果額）
百万円(年)

（取組の効果額内訳）

		（取組の概要）	（検討状況・課題）
検討中	●	概要：官民連携による包括委託導入の検討に併せた共同での包括委託等による広域化	平成28年3月から検討会を開催しているが、令和4年度は検討会等の開催は未実施。引き続き検討は実施していく

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
真鶴町	下水道事業	公共下水道	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

抜本的な改革の方向性について、検討の前段階であるため

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
真鶴町	介護サービス事業	指定訪問看護ステーション	真鶴町訪問看護ステーション

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
				●			

抜本的な改革の取組状況

取組事項	民間活用（指定管理者制度）

実施済	●
実施予定	

（取組の概要）

・当町が地域福祉計画に掲げる『家に住むのではなく「まち」に住む』を実現するため、診療所、訪問看護ステーション及び看護小規模多機能型居宅介護施設を指定管理制度で運営している。
・当町には各種介護事業所自体が少ないことにより、高齢化率が高く独居や高齢者のみの世帯が多い当町において、介護度や医療依存度が高くなっても、住み慣れた自宅や地域で生活の継続を住民が望めるように、医療系の介護サービスを指定管理制度で運営することにより、上記計画の実現と入院費や施設サービス費の抑制につなげることを目的としている。

（方式）

代行制	利用料金制
	●

（実施（予定）時期）

令和		
2	4	1
年	月	日

（取組の効果額）

百万円(年)

（取組の効果額内訳）

効果額未算定

検討中	

（取組の概要）

（検討状況・課題）